2020年3月期 決算短信（日本基準）（連結）

2020年5月8日

上場会社名　株式会社 藤商事　　上場取引所　東
コード番号　6257　URL https://www.fujimarukun.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）井上　孝司
問合せ先責任者　（役職名）常務執行役員　経営企画本部長　（氏名）村上　和繁　TEL 06-6949-0323
定時株主総会開催予定日　2020年6月26日　配当支払開始予定日　2020年6月29日
有価証券報告書提出予定日　2020年6月29日
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	25,172	△10.0	△2,054	—	△2,279	—	△4,719	—
2019年3月期	27,971	—	1,337	—	1,499	—	796	—

（注）包括利益　2020年3月期　△4,603百万円　（—%）　2019年3月期　782百万円　（—%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△210.74	—	△11.0	△4.5	△8.2
2019年3月期	35.04	—	1.7	2.6	4.8

（参考）持分法投資損益　2020年3月期　—百万円　2019年3月期　—百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	46,657	40,006	85.7	1,786.35
2019年3月期	53,557	45,729	85.4	2,041.92

（参考）自己資本　2020年3月期　40,006百万円　2019年3月期　45,729百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,854	△1,724	△1,119	20,821
2019年3月期	△1,874	△519	△2,312	21,810

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	1,119	142.7	2.5
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00	1,119	—	2.6
2021年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00		—	

3. 2021年 3月期の連結業績予想（2020年 4月 1日～2021年 3月31日）

新型コロナウイルス感染症の収束時期によりパチンコホール様における新台入替の対応等も大きく変動することが見込まれることから、現時点におきまして適正かつ合理的な業績予想の算出が困難であるため、2021年3月期の連結業績予想は未定とさせていただき、業績への影響が合理的に予想可能となった時点で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	24,395,500 株	2019年3月期	24,395,500 株
② 期末自己株式数	2020年3月期	2,000,045 株	2019年3月期	2,000,045 株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	22,395,455 株	2019年3月期	22,726,999 株

（参考）個別業績の概要

2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	20,576	△15.5	△2,148	―	△2,302	―	△4,720	―
2019年3月期	24,364	△53.4	882	△80.4	1,191	△71.9	796	△68.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	△210.79	―
2019年3月期	35.06	―

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	46,458	40,033	86.2	1,787.57
2019年3月期	53,248	45,733	85.9	2,042.07

（参考） 自己資本 2020年3月期 40,033百万円 2019年3月期 45,733百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1．経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、2020年5月11日（月）に予定していた決算説明会（アナリスト、機関投資家向け）の開催を見送ることといたしました。なお、当日使用する予定であった決算説明資料については、2020年5月11日（月）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

〇添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… ２
（１）当期の経営成績の概況 …… ２
（２）当期の財政状態の概況 …… ３
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… ３
（４）今後の見通し …… ４
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… ４
３．連結財務諸表及び主な注記 …… ５
（１）連結貸借対照表 …… ５
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… ７
連結損益計算書 …… ７
連結包括利益計算書 …… ８
（３）連結株主資本等変動計算書 …… ９
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12
（会計方針の変更） …… 12
（会計上の見積りの変更） …… 12
（セグメント情報等） …… 12
（１株当たり情報） …… 12
（重要な後発事象） …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府主導による経済対策などを背景に雇用情勢・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移しておりましたが、年度後半は新型コロナウイルス感染症の影響による国内経済の落ち込みが懸念される状況となりました。

パチンコホール様における2019年12月末時点での遊技機の設置台数は、パチンコ遊技機は2,557千台（対前年比3.0%減）、パチスロ遊技機は1,637千台（同1.6%減）、遊技機全体は4,195千台（同2.5%減）となりました。また、パチンコホール店舗数においても、9,639店舗（同4.2%減）となり、依然として減少傾向が続いております（警察庁調べ）。

パチンコホール業界におきましては、のめり込み防止や依存症対策の一環として過度の射幸性を抑えた遊技機の導入をはじめ、さまざまな施策を通じてファンの皆様がパチンコ・パチスロをより安心・安全に楽しめる環境づくりを推進しております。

また、遊技機業界におきましては、年度後半から新台市場は全面的に新規則機に移行しましたが、パチンコホール様における設置機種の稼働は依然として旧規則機が中心となり、新規則機市場の販売および稼働は総じて低調に推移したことなどから、遊技機市場全体の入替需要は伸び悩みました。

このような状況のもと当社グループは、規則改正を契機としたパチンコホール様における設置機種構成の見直しを「変化の時はチャンス」ととらえ、ヒットタイトルや新ジャンルの創出に努めるとともに、セカンドブランドを活用した販売戦略を展開いたしました。

そして、自らが環境の変化に順応する『変わる挑戦』を掲げ、ファンの皆様のニーズを的確にとらえ、幅広いファンの皆様から支持される、時代の変化に対応した魅力あふれる遊技機を創造することに全社をあげて取り組んでまいりました。

遊技機事業につきましては、パチンコ遊技機にて下半期に投入した機種が苦戦を強いられたことに加え、今期に発売を予定していたタイトルにおいて型式試験の適合取得に時間を要したため、来期以降の発売となったことなどにより、販売台数は低調に推移いたしました。

デジタルコンテンツ事業につきましては、来期にリリースを予定している第４弾スマートフォン向けゲームアプリの開発を鋭意推進いたしました。

また、今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当連結会計年度末において繰延税金資産を19億96百万円取り崩し、法人税等調整額に計上いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高251億72百万円（対前年同期比10.0%減）、営業損失20億54百万円（前年同期は営業利益13億37百万円）、経常損失22億79百万円（前年同期は経常利益14億99百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失47億19百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益７億96百万円）となりました。

製品別の状況は次のとおりであります。

（パチンコ遊技機）

上半期は、新規タイトルとして「Ｐ緋弾のアリアⅢ　設定付」（2019年４月発売）、「Ｐリング　バースデイ　呪いの始まり　設定付」（2019年７月発売）を市場投入したほか、前連結会計年度に発売したシリーズ機種などを追加販売いたしました。

また、下半期は新規タイトルとして、「Ｐ貞子ｖｓ伽椰子　頂上決戦」（2019年11月発売）、「Ｐ地獄少女四」（2020年１月発売）を市場投入したほか、その他のシリーズ機種などを継続販売いたしました。

以上の結果、販売台数は50千台（対前年同期比25.9%減）、売上高は195億68百万円（同16.3%減）となりました。

（パチスロ遊技機）

上半期は「Ｓ呪怨　再誕　ＡＴ」（2019年９月発売）、また、下半期は「Ｓ喰霊-零-　運命乱　～うんめいのみだれ～」（2019年11月発売）、「Ｓリング　恐襲ノ連鎖」（2019年12月発売）、「Ｓ地獄少女　あとはあなたが決めることよ」（2020年２月発売）を市場投入し、販売台数は13千台（対前年同期比7.5%増）、売上高は56億３百万円（同23.6%増）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は305億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億91百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が９億89百万円、原材料及び貯蔵品が８億26百万円、未収還付法人税等が８億17百万円減少したことによるものであります。固定資産は160億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億８百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金資産が20億46百万円、投資有価証券が２億98百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は466億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ68億99百万円減少いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は48億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億49百万円減少いたしました。これは主に、未払金が２億55百万円増加したことに対し、買掛金が11億２百万円、賞与引当金が１億51百万円減少したことによるものであります。固定負債は18億６百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は66億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億76百万円減少いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は400億６百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億23百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失47億19百万円および剰余金の配当11億19百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は85.7%となりました。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、208億21百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は18億54百万円となりました。

これは主に、減価償却費23億29百万円、たな卸資産の減少額８億28百万円、法人税等の還付額８億２百万円などが増加の要因であり、税金等調整前当期純損失24億30百万円、仕入債務の減少額９億58百万円などが減少の要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は17億24百万円となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入７億円などが増加の要因であり、有形固定資産の取得による支出22億３百万円などが減少の要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は11億19百万円となりました。

これは、配当金の支払によるものであります。

（４）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞が長期化するなど、先行き不透明な状況が続くものと見込んでおります。

また、政府による緊急事態宣言に基づきパチンコホール様におきましては営業自粛や時短営業などの対策を講じておりますが、今後の店舗運営におきましては不透明な状況が続いております。

さらに、この感染症の収束時期によりパチンコホール様における新台入替の対応等も大きく変動することが見込まれることから、現時点におきまして適正かつ合理的な業績予想の算出が困難であるため、2021年３月期の連結業績予想は未定とさせていただき、業績への影響が合理的に予想可能となった時点で、速やかに公表いたします。

（注）　遊技機の製造・販売については、風営法等に定める「技術上の規格」への適合について、指定試験機関による型式試験および各都道府県公安委員会による検定を受ける必要があります。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、遊技機の型式試験の適合状況をはじめ、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年３月31日)	当連結会計年度 (2020年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,211	21,222
受取手形及び売掛金	2,445	1,901
電子記録債権	639	769
有価証券	702	600
商品及び製品	3	0
原材料及び貯蔵品	4,709	3,883
前渡金	2,483	2,067
前払費用	249	116
未収還付法人税等	817	―
その他	313	177
貸倒引当金	△102	△156
流動資産合計	34,473	30,582
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,383	6,370
減価償却累計額	△2,720	△2,898
建物及び構築物（純額）	3,663	3,471
機械装置及び運搬具	3,147	3,583
減価償却累計額	△2,489	△2,670
機械装置及び運搬具（純額）	658	912
工具、器具及び備品	13,738	11,688
減価償却累計額	△12,596	△10,824
工具、器具及び備品（純額）	1,142	864
土地	3,135	3,152
建設仮勘定	4	23
有形固定資産合計	8,604	8,424
無形固定資産		
ソフトウエア	181	187
その他	123	124
無形固定資産合計	305	312
投資その他の資産		
投資有価証券	3,157	2,858
長期前払費用	3,080	2,830
繰延税金資産	3,062	1,016
その他	1,178	1,121
貸倒引当金	△305	△489
投資その他の資産合計	10,174	7,338
固定資産合計	19,084	16,075
資産合計	53,557	46,657

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年３月31日)	当連結会計年度 (2020年３月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,151	3,048
未払金	839	1,095
未払費用	191	141
未払法人税等	308	167
賞与引当金	463	312
役員賞与引当金	46	―
その他	95	82
流動負債合計	6,095	4,845
固定負債		
退職給付に係る負債	826	900
資産除去債務	264	265
その他	641	640
固定負債合計	1,732	1,806
負債合計	7,827	6,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	41,147	35,307
自己株式	△2,324	△2,324
株主資本合計	45,332	39,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	399	540
退職給付に係る調整累計額	△2	△27
その他の包括利益累計額合計	396	512
純資産合計	45,729	40,006
負債純資産合計	53,557	46,657

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2018年４月１日 至　2019年３月31日）	当連結会計年度 （自　2019年４月１日 至　2020年３月31日）
売上高	27,971	25,172
売上原価	13,417	11,974
売上総利益	14,553	13,197
販売費及び一般管理費	13,215	15,252
営業利益又は営業損失（△）	1,337	△2,054
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	58	58
貸倒引当金戻入額	100	―
賃貸収入	20	21
その他	38	43
営業外収益合計	223	127
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	50	235
シンジケートローン手数料	6	112
その他	5	5
営業外費用合計	62	352
経常利益又は経常損失（△）	1,499	△2,279
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
投資有価証券評価損	―	0
固定資産売却損	―	0
固定資産除却損	36	48
減損損失	―	104
特別損失合計	36	152
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	1,464	△2,430
法人税、住民税及び事業税	352	292
法人税等調整額	315	1,996
法人税等合計	667	2,288
当期純利益又は当期純損失（△）	796	△4,719
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	796	△4,719

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2018年４月１日 至　2019年３月31日）	当連結会計年度 （自　2019年４月１日 至　2020年３月31日）
当期純利益又は当期純損失（△）	796	△4,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	140
退職給付に係る調整額	△2	△24
その他の包括利益合計	△13	115
包括利益	782	△4,603
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	782	△4,603

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自　2018年４月１日　至　2019年３月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,281	3,228	41,496	△1,157	46,848
当期変動額					
剰余金の配当			△1,144		△1,144
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）			796		796
連結範囲の変動			△0		△0
自己株式の取得				△1,167	△1,167
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	△348	△1,167	△1,515
当期末残高	3,281	3,228	41,147	△2,324	45,332

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	410	－	410	47,259
当期変動額				
剰余金の配当				△1,144
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）				796
連結範囲の変動				△0
自己株式の取得				△1,167
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△10	△2	△13	△13
当期変動額合計	△10	△2	△13	△1,529
当期末残高	399	△2	396	45,729

当連結会計年度（自　2019年４月１日　至　2020年３月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,281	3,228	41,147	△2,324	45,332
当期変動額					
剰余金の配当			△1,119		△1,119
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△4,719		△4,719
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	△5,839	－	△5,839
当期末残高	3,281	3,228	35,307	△2,324	39,493

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	399	△2	396	45,729
当期変動額				
剰余金の配当				△1,119
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）				△4,719
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	140	△24	115	115
当期変動額合計	140	△24	115	△5,723
当期末残高	540	△27	512	40,006

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2018年４月１日 至　2019年３月31日）	当連結会計年度 （自　2019年４月１日 至　2020年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	1,464	△2,430
減価償却費	2,045	2,329
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△61	237
賞与引当金の増減額（△は減少）	△147	△151
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△28	△46
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	33	37
受取利息及び受取配当金	△64	△62
固定資産売却損益（△は益）	△0	△1
固定資産除却損	36	48
投資有価証券評価損益（△は益）	―	0
減損損失	―	104
売上債権の増減額（△は増加）	4,506	414
たな卸資産の増減額（△は増加）	△887	828
前渡金の増減額（△は増加）	△1,454	416
長期前払費用の増減額（△は増加）	△1,015	21
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,538	△958
未払金の増減額（△は減少）	△1,332	501
その他	△60	185
小計	494	1,474
利息及び配当金の受取額	72	66
法人税等の支払額	△2,441	△489
法人税等の還付額	―	802
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,874	1,854
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	1,080	700
投資有価証券の取得による支出	―	△100
有形固定資産の取得による支出	△1,429	△2,203
有形固定資産の売却による収入	―	1
無形固定資産の取得による支出	△58	△66
その他の支出	△150	△64
その他の収入	38	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△519	△1,724
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,167	―
配当金の支払額	△1,145	△1,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,312	△1,119
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,706	△989
現金及び現金同等物の期首残高	26,403	21,810
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	114	―
現金及び現金同等物の期末残高	21,810	20,821

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、遊技機事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2018年４月１日 至　2019年３月31日）	当連結会計年度 （自　2019年４月１日 至　2020年３月31日）
１株当たり純資産額	2,041.92円	1,786.35円
１株当たり当期純利益又は１株当たり当期純損失（△）	35.04円	△210.74円

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２．１株当たり当期純利益又は１株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　2018年４月１日 至　2019年３月31日）	当連結会計年度 （自　2019年４月１日 至　2020年３月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社に帰属する当期純損失（△）（百万円）	796	△4,719
普通株主に帰属しない金額（百万円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）（百万円）	796	△4,719
普通株式の期中平均株式数（株）	22,726,999	22,395,455

（重要な後発事象）

該当事項はありません。